

機械職



都市部 建築課
施設整備担当
総括副主幹 平野 哲和
平成6年度入庁

■担当業務について

現在の仕事内容は、公共施設（市役所、小中学校、公民館、スポーツセンター等）の改修工事や新築工事における機械設備に関する設計、積算、工事監理などです。機械設備は、主にエアコンなどの空調設備やトイレなどの衛生設備があります。技術職ではありますが、現場で工事の作業をするのではなく、工事に関する工程管理や事務処理が主な仕事となります。

■就職先として公務員の機械職を選んだ理由

私は、工業高校の出身で機械設備を専攻していました。就職先は学校で学んだことを活かせる仕事をしたいと思っていました。そんななか、学校の就職指導の担当教諭から、就職先として公務員の技術職という選択肢があることを教えてもらいました。また、私のような各分野の専門の勉強をする学校の卒業生も多く公務員の技術職として活躍していることも知り心強く思い、公務員の機械職を志望しました。



現場(学校)での様子①

ある1週間のスケジュール

月

- ・課・担当内打合せ
- ・事務処理
- ・工事定例会議、工事の現場確認

火

- ・事務処理
- ・現場調査
- ・設計図面の作成

水

- ・設計図面の作成
- ・積算業務

木

- ・積算業務
- ・工事定例会議、工事現場の確認

金

- ・事務処理
- ・施設の設備機器点検

ある1日のスケジュール

- 8:30 出勤、回覧・メールの確認
- 9:00 業者から提出された書類の確認作業
- 10:00 業者打合せ
- 12:15 昼食
- 13:00 事務処理
- 14:00 現場にて工事監理
- 16:00 設計図面の作成
- 17:00 退庁



現場(学校)での様子②



現場(学校)での様子③



現場(学校)での様子④

■公務員の機械職の魅力だと感じる点

私たちは、施設管理者や施設利用者の要望に応えつつ、コストなどを考慮して設計積算を行い、工事完成に向けて施工業者などと一緒に協力しながら工事を進めます。そのため、工事の一連の流れを経験することができるとともに、各関係者と一体感を持って取り組むことができるので、工事が完成した際の達成感はとても大きいと感じています。また、工事完成後は、施設を様々な人に利用してもらえるところに魅力を感じます。

■綾瀬市の特徴、魅力だと感じる点

技術職でも様々な種類（土木、建築、電気、機械等）の職種があるなか、綾瀬市の技術職員は、職種の壁も無く、気さくに相談ができる環境の良い職場だと感じます。

■就職活動中の皆さんに一言

私たちの仕事は、様々な人と協力しながら工事の完成に向けて仕事をすることができ、完成した建物は形あるものとして残り、建物を見るたびに仕事での関わりを思い出すことができます。機械設備に関する仕事に興味のある方、ぜひ一緒に綾瀬市で仕事をしましょう。